

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	芸術家・文化人等による文化発信推進事業－文化庁「文化交流使」の派遣等－		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	長官官房国際課		国際課長 佐藤 透	
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	トップレベルの文化人等が海外において各文化交流使の創意に満ちた日本文化紹介活動を展開することにより、我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進に努めるとともに、文化人や芸術家の間のネットワーク形成を強化する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①我が国の文化人、芸術家・芸術団体等を一定期間、文化庁「文化交流使」に指名し、その専門分野に関する実演、講演会、講義などを海外で実施することにより、日本文化を広く海外に紹介する。 ②文化交流使活動報告会を実施。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	110	100	83	76	72
		繰越し等	△ 28	-	-	-	-
		計	-	-	-	-	-
	執行額	82	100	83	76	72	
	執行率 (%)	73	75	45			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進、及び文化人や芸術家間のネットワーク形成強化については、短期的な目標達成ではなく、中長期にわたり継続して派遣していくことで築き上げられるものであるため、成果がすぐに現れるものではなく、定量的な指標を設定することは困難である。但し、参考指標として文化交流使が任意で行うアンケート調査や活動報告書により、短期的な成果を推察することはできる。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	文化交流使の指名数及び派遣地域数とする。		活動実績 (当初見込み)	指名数・派遣地域数	16・3	16・3 (22・3)	12・3 (16・3)
単位当たりコスト	4(百万円/指名数)		算出根拠	平成23年度執行額45百万円/指名数12			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	28 百万円	24 百万円				
	職員旅費	0.1 百万円	0.1 百万円				
	委員等旅費	0.3 百万円	0.1 百万円				
	文化人等派遣旅費	41 百万円	14 百万円				
	庁費	6 百万円	0.005 百万円				
	文化芸術振興委託費	0 百万円	34 百万円				
	計	76 百万円	72 百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない 文化人等派遣費の積算見直しによる減			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、多様な日本文化を海外に発信するべく、一線で活躍する文化人、芸術家を海外へ派遣する事業であり、国が実施すべき事業である。なお、不用額は、当初予定していた文化人、芸術家を招へいできなかったこと、また、当初想定していたよりも派遣者の派遣期間が短くなったことによる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は、在外公館や国際交流基金海外事務所による海外におけるニーズ調査等を踏まえ、文化庁長官が指名する制度を採用している。また、文化交流使への支出費目については、事業実施要項及び事業実施細則に定め、事業実施に必要なものに限定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業実施に当たっては、外務省、国際交流基金と連携し、在外公館や海外事務所を通じて、諸外国における日本文化のニーズ調査を行った上で、文化交流使の選定を行っている。また、在外公館文化事業や国際交流基金主催事業などとの重複がないよう3者間で定期的に情報共有を行い、効率的かつ効果的な日本文化の発信に努めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	上記、評価に関する説明にも記載したとおり、事業実施の必要性は高く、資金投入の合理性を確保している。また、国庫支出の在り方についても、外務省や国際交流基金との二重払がないように各省で情報共有をするとともに、文化交流使に旅券等の証憑関係書類の提出を求め、その内容の突合を行うことで適正性を担保している。また、平成25年度以降は、平成23年度よりも大幅に選定スケジュールを早め、派遣者のスケジュールを確保することにより、適切な予算執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点:この事業は、我が国の文化的イメージの向上と諸外国との国際文化交流の推進を図るため、文化交流使を海外へ派遣するものであり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見:本事業は、平成23年度において不用額が生じているが、平成24年度当初予算で既に予算の縮減を図るなど一定の見直しを実施している。今後は執行の早期化を図るとともに、平成25年度概算要求においても予算執行の実績を適切に反映すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	予算執行の実績を的確に把握するとともに、事業に必要な費目及び派遣旅費等の積算単価の見直しを行い、概算要求に▲52百万円反映した。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0486	平成23年行政事業レビュー	0408

※平成23年度実績を記入

文化庁
45百万円

庁費(活動報告会を除く)等 1百万円 を含む

①文化交流使
海外派遣等事業

【支出】

A. 文化交流使
(全9名(個人)+3団体)
40百万円

文化交流使に対して海外派遣のための旅費等を支出

②文化交流使活動報告会

【一般競争入札・請負】

B. (株)日本旅行
4百万円

文化交流使の活動報告会を実施

※庁費等執行分

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する)(単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.文化交流使(個人A)			C.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	文化人等派遣旅費	交通費・滞在費	10			
	諸謝金	活動謝金	3			
	計		13	計		0
	B.(株)日本旅行			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
事業費	雑役務費、通信費、借損料	3.7				
人件費	ディレクター等人件費	0.3				
計		4	計		0	

支出先上位10者リスト

A.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	文化交流使(個人A)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	13	—	—
2	文化交流使(個人B)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
3	文化交流使(個人C)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
4	文化交流使(個人D)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
5	文化交流使(個人E)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
6	文化交流使(個人F)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
7	文化交流使(個人G)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	3	—	—
8	文化交流使(個人H)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	2	—	—
9	文化交流使(個人I)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	2	—	—
10	文化交流使(個人J)	実演、実技指導、講演、講義、共同制作、情報交換等	1	—	—

※謝金及び旅費であるため、「入札者数」「落札率」は「—」としている。

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本旅行	文化交流使の活動報告会の実施	4	2	100%